

日本化粧品学会

第36回 教育セミナー プログラム

アクセサリーオーガンとオーラルケアの化粧品学 ～エチケットのサイエンス～

ご挨拶

今年の教育セミナーのテーマは「アクセサリーオーガンとオーラルケアの化粧品学 ～エチケットのサイエンス～」です。今までの教育セミナーのテーマはシミ、シワなどの老徴が主なものでした。しかし化粧品が扱う分野は、必ずしも皮膚の老化現象とは限りません。化粧品は現在、QOL を高めるばかりでなく、エチケットとしても無くてはならないものになってきています。今回はエチケットとしての化粧品のサイエンスを探る目的で、皮膚付属器と口腔の化粧品学をテーマに選びました。

最初に、人の原始的な脳が担っている匂いの科学を「心を揺さ振る匂い ～体の匂いから植物の匂いまで～」というタイトルで、長崎大学大学院の神経機能学分野教授篠原一之先生に講演してもらいます。その後体温調節ばかりでなく匂いにも関係している汗の話「発汗の機序と発汗異常を伴う疾患」というタイトルで、東京医科歯科大学皮膚科教授の横関博雄先生にお話ししていただきます。次いで、匂いの及ぼすヘルスケアという観点で山本香料(株)社長の山本芳邦先生に「アロマの化学とヘルスケア」というタイトルで講演していただきます。

昼食を挟んで午後からは、爪は健康のバロメーターとされている爪の話、聖路加国際病院皮膚科部長の衛藤光先生に「爪と健康」というタイトルでお話ししていただきます。引き続き(株)カネボウ化粧品の引間理恵先生から「魅力あふれる唇をめざして～唇の生理とケア～」というタイトルで、毛包脂腺系のありふれた皮膚病であるニキビの話、藤田保健衛生大学医学部教授の赤松浩彦先生から「にきびを知る」というタイトルで講演していただきます。

その後休憩をはさんで、オーラルケアの化粧品学を鶴見大学歯学部教授・病院長の斎藤一郎先生に「口腔から考える全身の抗加齢医学」というタイトルで、ライオン(株)の鬼木隆行先生に「口腔審美のための最適なセルフケア製品の実現を目指して」というタイトルでお話を伺うことになっています。

今回のセミナーが、皮膚付属器や口腔に関連する化粧品の開発に役立っていただければ望外の喜びです。多数のご参加をお待ちしております。

学術委員長 渡辺晋一

開催日：2011年10月7日（金）

会場：ヤクルトホール

*アクセスは最終ページの地図をご参照ください

〒105-8660 東京都港区東新橋 1-1-19 (TEL.03-3574-7255)

開場：9:30

開演：10:00

参加費：会 員 15,000 円（予約 13,000 円）

非会員 20,000 円（予約 18,000 円）

学 生 2,000 円（当日のみ・要旨集代含・要学生証提示）

* ご所属が賛助会員の場合、個人で会員でない方でも会員と同じく
13,000 円（当日申込の場合には 15,000 円）でご参加頂けます。

* 参加費には要旨集代が含まれています。

日本化粧品学会 第36回教育セミナー プログラム

<9月29日変更版>

-
- 10:00～10:05 開会挨拶 委員長 渡辺 晋一（帝京大学）
-
- 10:05～10:50 座長 松本 克夫（ポーラ）
1. 心を揺さ振る匂い ～体の匂いから植物の匂いまで～
篠原 一之（長崎大学大学院医歯薬学総合研究科
医療科学専攻生命医科学講座神経機能学分野教授）
- 10:50～11:35 座長 満山 俊平（大正製薬）
2. 発汗の機序と発汗異常を伴う疾患
横関 博雄（東京医科歯科大学皮膚科教授）
- 11:35～12:15 座長 菅沼 薫（エフシージー総研）
3. アロマの化学とヘルスケア
山本 芳邦（山本香料(株)代表取締役社長）
- 12:15～13:20 --- 昼休み（参加費に弁当代は含まれません） -----
- 13:20～14:05 座長 江藤 隆史（東京通信病院）
4. 爪と健康
衛藤 光（聖路加国際病院皮膚科部長）
- 14:05～14:50 座長 翠川 辰行（ライオン）
5. 口腔から考える全身の抗加齢医学 ～口から全身の老化を防ぐ～
斎藤 一郎（鶴見大学歯学部教授・病院長）
- 14:50～15:35 座長 正木 仁（東京工科大学）
6. にきびを知る
赤松 浩彦（藤田保健衛生大学医学部応用細胞再生医学講座教授）
- 15:35～15:50 --- 休憩 -----
- 15:50～16:30 座長 平尾 哲二（資生堂）
7. 魅力あふれる唇をめざして ～唇の生理とケア～
引間 理恵（(株)カネボウ化粧品メイクアップ研究所）
- 16:30～17:10 座長 坂巻 剛（カネボウ化粧品）
8. 口腔審美のための最適なセルフケア製品の実現を目指して
鬼木 隆行（ライオン(株)研究開発本部オーラルケア研究所）
-
- 17:10～17:15 閉会挨拶 副委員長 松本 克夫（ポーラ）
-

心を揺さ振る匂い ～体の匂いから植物の匂いまで～ [篠原一之先生]

人は胎児期から、匂いに心を揺さぶられています。体の種々の匂いは、親子間の絆を深めたり、親離れ・子離れを促したり、有益なパートナー選択を促します。また、人は自分の心を揺さぶる、或いは、揺さぶられた心を癒すために植物香気成分(香水や精油)を用います。体の匂いを介したコミュニケーションに関しては行動、脳、遺伝子の視点から、植物香気成分に関してはその中の心を揺さぶる種々の単一物質についてお話します。

発汗の機序と発汗異常を伴う疾患 [横関博雄先生]

夏になるとべとべととして気持ちが悪い汗も実は体を守るために多くの働きをしています。体温調節機能、肌の保湿機能、皮膚の細菌などからの免疫的な防御機能、ものをつかみ易くする機能など多くの機能があります。しかし、汗をかきすぎると逆に握手ができない、字を書くときに紙が濡れて破れるなど生活に不自由ですし、汗をかかないと熱中症を起こすなど社会生活が困難になります。今回の講演では発汗の仕組みと発汗異常についてお話して、汗とうまく付き合っていく方法について述べたいと思います。

アロマの化学とヘルスケア [山本芳邦先生]

香り(アロマ)はただ匂うだけではありません。大脳の一部を刺激して身体の調子を整えてくれたり、微量の薬剤として神経に働きかけたりしてくれるのです。アロマセラピーが広まるにつれ、アロマを用いた様々な癒しグッズがあふれています。果たして、アロマは人間の精神や肉体のためにどんなことをしてくれるのでしょうか？そして、害はないのでしょうか？最新の研究成果を取り上げて真相を究明してみたいと思います。

爪と健康 [衛藤光先生]

ヒポクラテスの昔から爪は健康のバロメーターであり、多くの内臓疾患のサインが現れることが知られている。爪に現れる主な異常は色調の異常、形の異常、性状の異常の3つの要素として表現される。そしてこれらは、1.爪のみの異常、2.皮膚疾患に伴う爪の異常、3.内臓・全身疾患に伴う爪の変化の3種類の病的状態に分類される。本セミナーでは正常な爪と病的な爪を豊富な臨牀写真を示して解説し、爪と健康について考えてみたい。

口腔から考える全身の抗加齢医学 ～口から全身の老化を防ぐ～ [斎藤一郎先生]

抗加齢医学(アンチエイジング医学)は「老化を遅らせて、病気にならず、いつまでも若々しく生きること」という人間なら誰でも望んでいることを医学的に検証し、実践する最新の医学です。人はどこで老いを感じるのか？もちろん個人差もありますが、ほとんどの人に共通しているのは目と口です。義歯、歯周病、口臭、味覚障害、口腔乾燥症で老化を自覚する方が多いことから、歯科医療は抗加齢医学の最前線にいます。本講演は「口の若さを保ち、体全体の若さを保とう」という新しい提案です。

にきびを知る [赤松浩彦先生]

にきびは思春期男女のほとんどが、程度の差はあれ一度は経験するものです。したがって、にきびをからだの発育過程における生理現象の一つとして捉えることも可能ですが、その症状が強い場合には一つの皮膚疾患として考えるべきであり、事実、皮疹は主に顔面に認められるため、容貌に敏感な思春期男女に対して想像以上に心理的ストレスを与えています。本教育セミナーでは、にきびの病態、治療法、そして化粧品の役割などについて述べたいと思います。

魅力あふれる唇をめざして ～唇の生理とケア～ [引間理恵先生]

女性の美しさの象徴ともいえる「唇」。その本来の美しさを、いかに保ち、引き出していくのか。我々は唇そのものを美しくしていくことを目指し、唇の生理や荒れのメカニズムについて研究を進め、商品開発に応用してきた。これまでの研究成果とそこから得られたリップケアの考え方について報告する。また唇の美しさを引き出す役割を果たす口紅の効果に関する研究も合わせて紹介したい。

口腔審美のための最適なセルフケア製品の実現を目指して [鬼木隆行先生]

他人の第一印象には、歯が非常に大きな影響を与える。調査によれば、他人が気になる外見として「肌荒れ」や「髪の毛の乱れ」を抑えて「歯の汚れ」が1位に挙がるほどである。歯を美しく見せるためには「歯の汚れ除去」に加えて「歯並びが整っている」ことが不可欠である。本発表では、これら口腔審美における2大ニーズについて、発生原因と予防法の観点から最近の知見を交えながら紹介する。

参加申込方法

日本化粧品学会 第36回教育セミナー

参加申込事前予約締切：2011年9月5日（月）

学会ホームページ(<http://www.jcss.jp/>)にて
(7月1日（金）よりWeb受付開始。)

- * 9月6日（火）以降は当日受付でお申込みください。
- * 予約申込で入金が確認された方には参加証及び要旨集を9月下旬に送付する予定です。
- * 一旦払い込まれた予約参加費は払い戻しできませんのでご注意ください。

連絡先：

日本化粧品学会 教育セミナー事務局
〒169-0075
東京都新宿区高田馬場4-4-19
(株)国際文献印刷社内
TEL. 03-5389-6496
FAX. 03-3368-2827
E-mail. jcs-semi@bunken.co.jp

■ ヤクルトホールへのアクセスマップ



JR新橋駅「銀座口」より徒歩3分
都営大江戸線 汐留駅 徒歩5分
新交通ゆりかもめ 新橋駅 徒歩3分

東京メトロ銀座線 新橋駅「2番出口」より徒歩2分
都営浅草線 新橋駅「汐留1番出口」より徒歩1分